

## 外来患者の皆様にご協力のお願い

多くの疾患は、環境因子と遺伝的素因の双方が原因となっています。遺伝的素因はいわゆる生まれつきの体質といわれるもので、遺伝子の個人差、遺伝子のわずかな違い、遺伝子多型に由来します。私たち第一内科では、糖尿病、関節リウマチ、喘息における遺伝的素因、遺伝子多型を解析し、病態の解明に取り組んでいます。

これには患者の皆様のご協力が欠かせません。当科に通院中の皆様にはご協力をお願いしています。遺伝子の提供には皆様の同意が必要です。同意できない場合においても、診療上まったく不利益を受けることはありません。また同意なくして遺伝子の解析を行うことはありません。

検査は、採血検査のみで、通常行われる外来もしくは、入院中の採血に加えて、一回だけ15mlほど多く採血させていただきます。

遺伝子検査に関わる費用は、富山大学第一内科で全て負担致します。

個人情報に関しては、匿名化という方法により、保護しています。

病気の原因遺伝子を解明することにより、病気になりやすい体質がわかり、一人一人の体質に応じた医療をすすめる事が可能になり、今後の医学の発展につながると思われまます。

**ご協力いただける方、あるいは興味がある方は主治医にご相談ください。**

それぞれの疾患における解析中の遺伝子（解析項目は、今後追加される予定です）

**糖尿病** : KGNJ11, HHEX, TCF7L2, CDKAL1, CDKN2B, SLC30A8, PPARG, IGF2BP2, FTO, KCNQ1  
PPARGとFTOは肥満関連遺伝子と言われておりますが、それ以外のものは、インスリン分泌に関わる遺伝子ではないかと推測されています。

**関節リウマチ** : STAT4, TRAF1, TNFAIP3

何れも免疫機能に関する遺伝子ですが、関節リウマチの発症との関連が報告されています。

**気管支喘息** : YKL-40

気管支喘息の重症化に関連する可能性が報告されています。

糖尿病の中には、1型糖尿病（インスリンが殆ど出ない糖尿病）と2型糖尿病（インスリンが出ていても量が不足していたり、その働きが悪い（インスリン抵抗性）糖尿病）がありますが、その両者の鑑別が困難な症例があります。その鑑別が難しい症例を遺伝子解析を行い診断しようという研究も開始する予定です。調べる遺伝子は、上記の遺伝子以外に1型糖尿病を引き起こしやすいと言われている、HLA, CTLA4, PTPN22, IL2RA/CD25, IFIH1/MDA5, INSであります。御協力お願い致します。